

 ライフアートコミュニティ佐保の里 通所介護・訪問介護・訪問看護・居宅介護支援 ISO 9001 BUREAU VERITAS Certification 佐保の里たより	ディサービスセンター佐保の里 〒630-8105 奈良市佐保台2丁目902-241 電話：0742-70-5020 青山ディサービスセンター 〒630-8101 奈良市青山4丁目3番 電話：0742-23-1020 菅原ディサービスセンター 〒631-0842 奈良市菅原町298-1 電話：0742-53-2020 新大宮ディサービスセンター 〒630-8115 奈良市大宮町3丁目4-18 電話：0742-30-3560 ホームページ http://www.lifeartcommunity.com
--	--

管理業務を担うために。

平成17年3月に、奈良市佐保台に「ディサービスセンター佐保の里、訪問介護ステーション、居宅介護支援事業所」を立ち上げ、ライフアートコミュニティ佐保の里として介護事業をスタートしました。その後、青山ディサービスセンター、菅原ディサービスセンター、新大宮ディサービスセンターと施設を拡大していき、昨年5月に訪問看護ステーション佐保の里を開設させて頂き、現在は4つの施設と3つの事業所の合計7つの事業を運営しており、職員も100名を超える規模となっております。

私は、佐保の里にお世話になるまでホテル関連の会社で経理、総務、人事の仕事を担当していましたので、佐保の里へ転職した際、管理部門であれば今まで培った経験が少なからず活かせるだろうと高を括っていましたが、多岐に亘る(総合的な)管理能力が必要とされる業務であることが分かり、自信喪失と共に今後の不安が増幅される日々が続きました。

ただ色々と考え悩む中で少し視点を変えてみると、まだまだ自分が成長出来る環境がここにはあるという思いが湧いてきました。

今までは、職員の採用や給与計算等事務的な業務が主な仕事でしたが、ここでの業務はそれにプラスして人・物・金の管理が必要です。

売上管理や経費管理等事業計画の達成に向けた取り組みに始まり、職員への社会人、会社人としてのマナー教育や、介護職員としての自覚を植え付ける等の教育、各センター長への指導者としてあるべき姿の指導等、やらなければいけない事は山積しています。

職員の採用にしても、介護業界に携わりたいと思う方が少ない状況のなか、今後高齢者がさらに増加していくなかで施設を運営していくために優秀な人材の確保が必須となっている現状を捉えても、下を向いている時間はなく、施設の発展とともに自分自身の成長に向けた努力を惜しまない所存です。



- 一、我々は地域社会に密着し、介護を望む又必要とする生活者に対し、生きる喜びと健康を守る為に限りない努力を重ねる
- 一、我々は人類、社会に対し、人として又企業として公的な使命が何かを大切に考え、私利私欲を廃し、誇りをもって具体的に貢献し続ける
- 一、我々は我々の生活を支えるべく企業発展を前向きかつ真剣に考え、果てしなく行動し続ける

理念

体の健康

心の健康

佐保の里
理念

体の癒し

心の癒し

レクリエーション

日本の春とは一般に3月～5月の3カ月間のことです。平年になく暖かい春の訪れとなり、各事業所、多方面にお出かけをしました。

佐保の里



「日本さくら名所100選」
にも選ばれる
「笠置キャンプ場」



佐保台児童公園



青山

～春は城陽から～
約1万本の白梅の花が青谷に咲くころ、
「春は城陽から」をキャッチフレーズに
梅まつりが開催

「青谷梅林」

菅原

花とかかわり、人と交わる

作品を通じて会話を楽しみ、暮らしの質の
向上に効果を生むことも期待されている

「フラワーアレンジメント活動」



新大宮



奈良と京都の県境に位置し
のどかな山里の風景が広がる
サービス満点の浄瑠璃寺の
山門までの道にある

「塔尾茶屋」



自慢のご利用者様

菅原デイサービスセンター

奈良市在住

田中 智枝子様 87歳

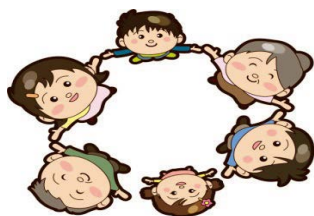
昭和5年6月3日 生まれ

いつも笑顔で若々しい田中様。

週2回ご利用くださり、脳トレやお友達とのおしゃべりを楽しまれています。また、周りの雰囲気も和やかにしてくださる素敵な女性です。



田中様の生い立ち



田中様は、4人兄弟の2番目として大阪でお生まれになりました。男1人女3人の長女としてお母様を支えてこられました。1934年の室戸台風の翌年、復興作業からの過労の為か35歳でお父様が亡くなられてしまいました。お母様は子供たちを連れて、お祖母さんを頼っていかれますが、世間は第二次世界大戦に突入したところで、お家の近くに軍の部隊があり、兵隊さんを宿泊させることも余儀なくされたようですが、ちょうど疎開もあり違う場所へ逃れられたそうです。時代が時代だけに田中様も学徒動員で飛行機の部品作りの工場に行かれていた頃、1945年3月に大阪大空襲がありました。逃げ込むはずだった防空壕が満員で入れなく、地元の学校へ逃げられた際にご家族とも再会されたそうです。そんな中、長女である田中様が兄妹の面倒も見られ、お母様の看病もされていました。

苦しい生活が続く中、御縁があり、田中様20歳、ご主人様21歳の時結婚されました。

洋裁や和裁は勿論ですが、28歳の時に「歯科衛生士」の資格を取得されました。当時はまだ浸透されていない資格で、田中様は2期生でした。資格を生かして30年間お勤めされたとのことですが、「人の歯ばかり見て自分の歯はダメなの。」と笑いながら話してくださいました。

3世代7人家族

田中様は息子さんご夫妻、お孫さん、ひ孫さんと同居されており、「毎日賑やかです」と嬉しそうなお顔で話されていました。特に、ひ孫さんには甘い「大きいおばあちゃん」だそうです。ひ孫さん達が野球やサッカー、ピアノをされており、ひ孫さんのご成長を楽しみにしておられます。



菅原デイサービスの印象についてお伺いしました。

開設当初からご利用頂き、5年になります。転倒を繰り返したり、勇み足になったりとパーキンソン症候群との診断があったそうですが、菅原でのリハビリが良かったようで、症状が改善されたようです。利用当初は要介護でしたが、現在は要支援になられ杖なしで歩かれています。施設の雰囲気も良く、知らない人はおらずお友達も多いようです。脳トレやレクリエーションが刺激になっていますとお話しして下さいました。

田中様の笑顔とお話して、これからも菅原を盛り立ててください。



貴重なお時間ありがとうございました。

インタビュー担当: 森井

転倒予防

～筋力低下以外の要因～

人間は加齢とともに、筋力の低下や、歩行障害、視力の衰えなど様々な要因が重なり、バランスを保ちにくくなっていきます。高齢者になるとこれらの要因に加えて、病気や服薬によって転倒するリスクがさらに高まり、思わぬ場所で事故が発生することもあります。高齢者やその家族にとって、転倒は寝たきりにつながる重大な事故になりかねず、その危険性を前もって知って対策しておくことが大切です。

転倒は若い人なら軽いケガですんでも高齢者にとっては大きな事故につながる場合があります。要介護になる要因の1位脳血管疾患(脳卒中)、2位認知症、3位高齢による衰弱、4位骨折と転倒で、骨折と転倒は全体の12%を占めています。

転倒につながる要因ランキング

2010年に文献で発表された転倒に要因となる一覧です。過去に転倒歴がある人が再び転倒する可能性が非常に高いことを示しています。また、見ての通り筋力低下だけではなく、様々な要因が重なるとさらに転倒しやすくなってしまいます。この要因を多く持っている人は注意が必要です。

環境設定の重要性

高齢者は老化によって、身体機能が低下している可能性があります。日常生活や普段の歩き方において、転倒しないために注意すべきことを常に心がけるだけでもリスクを軽減できます。

リスク因子

過去の転倒歴
バランス障害
筋力低下(上肢または下肢)
視力障害
薬剤(4>または向精神薬)
歩行障害
うつ
めまいまたは起立性低血圧
機能的制限、ADL障害
年齢>80
女性
低BMI (Body mass index)
失禁
認知障害
関節炎
糖尿病
疼痛

1 コード類をまとめる

つまづかないよう、電化製品のコードを短くまとめる、壁にはわせるなどしましょう。



2 履物を変える

スリッパは脱げやすいため、階段・段差では危険です。裸足かはな緒物のはき物がおすすですが、抵抗がある場合はかかとがおおわれるルームシューズに変えてみましょう。



3 間接照明器具を置く

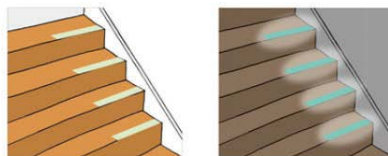
廊下に足元灯、枕元に電気スタンドなどの間接照明を置き、視界を明るく保って下さい。

人感センサー付きの節電タイプの器具もあります。



4 段差、階段を目立たせる

敷居や階段の段差の端に光るテープなどを貼り、下段との違いがわかるようにしましょう。



監修：日本転倒予防学会理事長 武藤芳昭先生

転びやすい歩き方

- すり足・ちょこちょこ歩き
- 目線が下向き
- 狭い歩幅
- つま先が上がらない
- つま先で地面を蹴れない



歩き方のポイント

- 進行方向を向いて、目線は足元ではなく、やや遠くを見る
- 歩幅を少し広めに
- かかとから着地する
- つま先で地面を蹴る
- 腕を自然に振る



ライフアートコミュニティ佐保の里

リハビリ室 室長 谷本 俊宏
理学療法士 上東 剛志
作業療法士 高垣 巧

理学・作業療法士の抱負

佐保の里が開設し、14年目に入りました。利用者様の生活機能改善のため、リハビリを重視した施設作りを目指してきました。デイサービスではレッドコードによるグループトレーニング、HURマシンによる筋力トレーニング、理学療法士等の専門家による個別機能訓練の3本柱のリハビリを実施してきました。

さらに昨年には訪問看護ステーションも開設し、利用者様宅に赴いてリハビリを行う訪問リハビリも始めました。そして今では佐保の里グループ全体で理学療法士2名、作業療法士3名が利用者様のリハビリを実施しています。それぞれが所属している部署において、専門家として何を大切にし、目指しているのかを知って頂きたいと思います。

佐保の里に入職して8年が経ちました。以前勤務していた病院とは違い、デイサービスでは機能訓練だけでなく、送迎や入浴介助にも携わってきました。利用者様のご自宅の様子や身体の状態も把握でき、機能の改善、生活の質の向上につながるリハビリを提供したいと考えています。利用者様と同じ目線で、一緒に考え、目指していきたいです。

デイサービスセンター佐保の里
理学療法士 上東 剛志

私は菅原デイサービスで勤務する以前は、70名規模の精神科デイケアにて勤務をしていました。この経験を生かし、利用者様が望むリハビリを身体だけでなく、精神面を含め、総合的に行い、様々なニーズに応えていけるようにしていきます。また環境面からアプローチし、安心安全に過ごしていけるようなデイサービス作りをしていきます。

菅原デイサービスセンター
作業療法士 高垣 巧

私はこれまで、回復期の病院やデイサービスで働いてきました。その中で、利用者様のご自宅での生活が重要だと感じました。安全に過ごせることはもちろんですが、趣味や外出等も安全に楽しく行って頂けるよう、動作練習や環境設定を提案していきたいと思っています。

デイサービスセンター佐保の里
理学療法士 奥村 智美

居宅に訪問させていただくことにより、実際の住居の中でお困りのことや、ご本人も気づいていない身体の不調の原因などを探り、一緒に解決しながら身体を整えていけたらと思っています。

病気や怪我などで身体が動きにくいだけでなく、痛みや不安などによる精神的な負担も抱えてしまうので、ご自身の自信回復に役立つような関わりや支援をしていきたいです。

訪問看護ステーション佐保の里
作業療法士 リー 貴子

一人一人の生活スタイルに合わせたリハビリを行えるよう心掛けています。その為には、今までの生活について等、ご本人様やご家族様と十分にお話をさせて頂き、満足のいくサービスを提供できるよう心掛けています。「自宅でこんなにリハビリができると広く知ってもらふこと」を目標に、佐保の里のスタッフの皆様、他職種の方々と協力し合い、利用者様のその方らしい生活を支援したいと思っています。

訪問看護ステーション佐保の里
作業療法士 竹村



掲 示 板

ISO:9001再認証審査の実施

ライフアートコミュニティ佐保の里は、2006年6月30日にISO:9001の認証を取得し12年目になりますが、毎年1回の維持審査と3年に1回再認証審査を受ける必要があります。今年は4回目の再認証審査となり、4月25日、26日の2日間、外部審査機関のビューロベリタスジャパンにより実施されました。

審査は経営者インタビューに始まり、管理責任者、4つのデイサービスセンターの他、全部門を対象に行われ、審査の結果は「全員参加のシステムが定着し、苦情・事故等が、速やかに改善される仕組みが実行され、顧客満足度の向上に繋がっている。社員一人一人に改善の意識が見受けられ、ISO品質マネジメントシステムが有効に活用されている。」との評価を頂きました。

これからもISOを形骸化することなく、ご利用者満足を高めていくよう努力してまいります。



経営者・幹部の再認証審査の実際



介護事業統括部の審査



居宅介護支援事業所の審査



各センターでの審査(新大宮デイ)

訪問看護ステーション佐保の里 開設1年

「佐保の里」グループをご利用
いただいていますご利用者様に、
佐保の里が実施しているサービスに
加え平成29年の5月から訪問看護
ステーションを開設しました。

開設当初は認知度や知名度もなく
「えっ佐保の里さんって訪問看護、訪問リハビリ
のサービスの事業もしているの?」とよく言われました。

そんなお言葉も1年が経過して、現在は看護師4名、作業療法士2名を抱え何とか事業所としての1歩、2歩が踏み出せて
おります。日頃ご利用者様をご紹介いただいています地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の担当ケアマネー
ジャー様、地域の開業医様やもちろん地域の方々様にも認知して頂き、昨年は24時間緊急体制にて、看取り看護も
数例携わらせて頂きました。今後も在宅生活のご支援はもちろん「命の尊厳」を基盤に地域への貢献を実践して参ります。
また熟練した作業療法士による、在宅生活で自立のために生活リハビリの実現なども充実させて参ります。
今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

命の尊厳
医療と看護の連携
ご利用者様に満足して頂け
るサービスの実現をめざします



管理者 山口 涼子

国家資格試験の合格

第30回介護福祉士国家試験
に合格しました。

心機一転頑張りますので
よろしくお願い致します。

山 中 弘 子 さん

デイサービス職員 介護福祉士
(菅原デイサービスセンター)

取得

